公益社団法人日本山岳会　石川支部報

峯

２０１９年度（令和元年度）
峯　第３号　第 32 号(復活通巻)
2019 年 12 月 31 日発行

Ⅰ.山行　公益事業等　報告　－　1～4
Ⅱ.行事等　報告　－　4
Ⅲ.今後の予定　－　5
Ⅳ.その他　案内・連絡　－　5～7

Ⅰ．計画山行・個人山行　報告

1．令和元年　五支部合同懇親山行　大鷲山(817m)

日時　：　11 月 9 日(土)、10 日(日)
担当支部　：　日本山岳会富山支部
宿泊場所　：　バーデン明日(あけび)（入善町舟見）
参加者　：　石川支部　　樽矢　大幡　村上　埴崎　安田　池本　　五支部　全　45 名

五支部合同懇親山行に参加させていただいた。
参加メンバーは、支部長車に 5 人、一足先に帰路に就くＯさんの 2 両編成で、受付 15:00 に間に合うよう金沢を 13:00 に出発、宿泊先入善の「バーデン明日」に向かう。

1 日目　会場では、富山支部会員の手厚い歓迎を受け、16:00 より「阿曽原温泉小屋」を経営される佐々木 泉 氏の「黒部は生きている」と題した講演会、その後 18:30 よりの夕食懇親会へと日程は進んでいった。　講演会は昨年、秋山山行「黒部川下の廊下」を会員 4 名で歩いたこともあり、当時の情景がまざまざと思い出され興味深いものがあった。　スライドが地勢によるデブリの流れやその破壊力のすさまじさを映し出す。　「・・昨年は転落事故が 2 件あり・・」その 2 件の事故に自分たちは遭遇したのか！　歩き慣れない登山者が立ちすくみ動けなくなる話には、実際に目にした状況として納得するものがあった。
懇親会は、長年にわたり山をライフワークとしてきた平均年齢 71 歳の顔が居並び、尽きぬ山談議と、各支部献呈の旨酒に酔わせていただいた一夜でした。

2 日目　参加者Ａ・B2 コースに分かれて山行目的地に向かう。
07:50 Ａ班は、県境境川河口付近に有り、近年海抜０ｍから登る山として人気を呼ぶ大鷲山登山口に向かう。
石川支部からはＩ1 人の参加になったが、登山口を確認したいとＯさんが目的地まで送ってくれた。
以下の山行記は、B コース組の行程を割愛し書き進めさせていただきます。
国道 8 号線下道を走るのだが、富山支部の先導が無ければ初めての者には分かりづらい場所だ。　08:05 加賀藩境関所跡前の
駐車場に車を停め、15 分間車の走らない 8 号線のど真ん中を歩く!?　境一里塚とある文化財遺跡より道を横断して、08:25 国道脇の登山口に出る。　「山道入口、海を見ながら山歩き、山頂へ 5 キロ、3 時間」の標柱が立つ。

〈山道入口〉

ここからは山の標高そのものを自分の足でなぞっていく登山道だ。　杉林の急登が続く、夜半の雨が残り赤土の道はズルズル滑り歩きづらい。　ストックを持たなかった後悔が頭をよぎる。
08:55 送電線鉄塔が立つ広場で一息つき、09:40 眼下に境川を走る高速道路と新幹線鉄橋が見下ろせる場所に立つ。
足元には地中深く境川トンネルがある。　期せずして新幹線が飛び出すと、皆の口から一斉に「新幹線だ!!」喜ぶ歳でもないが、何か心躍る楽しさがある。

10:15 小ピークを過ぎ、50m程急坂を下り登り返したら、10:22 標高 500m地点の展望広場に出た。

Ｖ字に切れた山あいの先には日本海が一望に見える。

紺碧の空と海、素晴らしい眺めだ。

事前に配布されたパンフには、イヌワシが生息し、

秋にはクマタカ・サシバ・ハチクマなど猛禽類の渡りの観察ポイントとある。

見飽きぬ景色に腰を上げ、10:35 広場前を走る「林道烏帽子線」を横切り、法面を刻む道を登る。　ここから頂上までは尾根道を辿る、眺望の開けた実に気持ちの良い道が続く。

〈日本海を望む〉

11:20 林道を車で展望広場に先行、頂上より下山して来る B コース組に出会う。　金沢組とはその場で、予定外だが広場で合流し同乗して帰る事を話して頂上を目指した。

11:40 頂上着。ゆっくりとした 3 時間ペースの大鷲山山行、山頂には三等三角点「ヒスイ海岸からようこそ」の標柱が立つ。

A コース組の集合写真に収まり、ご一緒した皆さまには別行動を取る断りと別れの挨拶を交わし一足先に下る。

12:20 展望広場着、12:40B コース組解散式に臨み、富山支部の関係者に謝辞と次回五支部合同懇親山行の再会を約して帰路に就いた。　楽しめる山だ！一度は登ることをお勧めしたいが、その際にはヒスイ海岸海抜０ｍよりの登山でなければ満足感も半減するだろう。　金沢には午後３時過ぎに着く早い帰宅となったが、もし山頂から A コース組と同じく海抜０の登山口に下りていたら、皆様を待たせて帰りは６時頃になっていたのでは？

別コースを取るメンバーを、車１台同乗で動く行動計画には考えさせる問題がある。

いずれにしても往復の運転を快くお引き受け頂いた樽矢支部長には、心より感謝申し上げます。

〈大鷲山山頂 A 班〉

〈大鷲山山頂 B 班〉

［文・写真：池本　　集合写真：富山支部より］

2．令和元年　山祭り集会

日時　　：　令和元年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）
場所　　：　吉野谷セミナーハウス
参加者　：　澤村　太田　樽矢　織田　廣瀬　藤江　大庭　村上　田中　埴崎
　　池本　大幡　尾山　藤井　堀　塚谷　下坂　安田　町口　黒崎　　20 名

令和元年の山祭り集会はカレンダーの関係で 11 月と 12 月にまたがってしまいましたが、年末に向けて忙しい中、20 名の参加となりました。

16 時から受け付け開始､18 時から夕食･懇親会としていたが、山屋さんばかりなので早着きで 15 時から温泉に入り待機されている方も何名か、受付の準備が間に合わず慌てる場面もありましたが、おかげさまで定刻通り 18 時から夕食・懇親会を始めることができました。

本年で永年会員となられる太田会員もお元気なお顔を見せて頂き、廣瀬会員と大先輩のお二人で年次晩餐会に出席されるとのこと、お気を付けて出席してください。

持ち込んだお酒の量に比例して懇親会は盛り上がり、それぞれで山行の思い出話や今後の山行について熱く熱く語り合われていました。

夜も更け、たくさん持ち込んだお酒も無くなる頃に三々五々、部屋に帰られ布団に入る方、その場で横になって就寝される方、等々で自然解散となりました。

翌朝も山屋の行動として早立ちの方が多く、7 時からの朝食を 7 時前から食べられるように早めてもらい、朝食後に各自帰路につきました。

今回も会員各位から手作りのお漬物や新鮮なイカ等のお気持ちを頂きありがとうございました。

[文・写真：堀]

3．令和元年　年次晩餐会に出席して

日時　　：　令和元年 12 月 7 日(土)
場所　　：　京王プラザホテル

12 月 7 日に開催された年次晩餐会に出席しての報告です。

毎年の事ですが、晩餐会の時期になると年末だなぁと感じられます。

晩餐会の楽しみは図書交換会があります、会場に入ると例年よりは幾分スペースが少ない様に感じられるが、並んでいる

図書は読んだものもありますが、初めて目にする本も多くありあり山岳図書マニアには垂涎のひと時です。

今回はあれもこれもではなく、昔、岩手のヒンカラ会議でお会いした西川一三氏の「秘境西域八年の潜行」上下巻に絞って抽選を待ちました、他に入札がなく無事手元に、ゆっくり読み返す楽しみができました。

読み返すと言うのは、40 数年前スキーで骨折して入院している時に､見上の湯浅忠政さんが｢暇だろうしこれ読んでみて｣とわざわざ病院まで持って来てくれた本です。

そんな思い出もある本に出会えて来た甲斐がある晩餐会です。

〈図書交換会〉

開演は午後 6 時半、参加者全員着席ののち、直前まではご臨席は叶わないでしょうと話していた天皇陛下がご入場、着席遊ばされました。

この後は式次第に乗り、粛々と進んで行きますが、本年は石川支部より太田会員が永年会員となられ、壇上にて顕彰となりました。

50 年の長きにわたり会員であり、また現在も山に親しまれている大先輩太田会員にはお祝いを述べるとともに尊敬する次第であります。

また恒例の鏡割りは急遽、陛下も法被を羽織られ壇上に上がられ鏡割りを成されました。

乾杯の後は各テーブルでの歓談、自己紹介も含めてあっと言う間の 2 時間が過ぎ、そろそろ支部紹介の時間だと思っていてもなかなか司会から声が掛からず、9 時になり、ようやく支部紹介、石川支部も 3 名でしたが大いに盛り上がりました。後日にお聞きしたところ、陛下より侍従にもう少しとおっしゃられたというお話でした。

また今回、自然保護委員会より石川支部をはじめ有志支部の活動をパネルにし展示頂いた自然保護委員会に感謝するものであります。

来年もまた晩餐会でと閉会となりました。

以上、簡単ですが年次晩餐会の報告とさせて頂きます

[文・写真：樽矢]

Ⅱ．行事等　報告

1．月次集会　三水会

日時　　：　令和元年 10 月 16 日（水）　　場所　　：　金沢総合体育館第三会議室
参加者　：　参加者　樽矢、大幡、堀、池本、埴崎、織田、藤江、田中、田井、町口　10 名

・11 月の山祭り準備等
・五支部スキーについて

11 月は山祭りの為、三水会はお休みでした。

日時　　：　令和元年 12 月 18 日（水）　　場所　　：　金沢総合体育館第三会議室
参加者　：　樽矢　大幡　田中　村上　藤江　藤井　田井　埴崎　堀　池本　八十嶋　11 名

・五支部スキーについて
場所：中宮山　、　宿泊は吉野谷セミナーハウス
日時：令和 2 年 2 月 15 日(土)、16 日(日)
45 名～50 名程度参加予定、石川支部各位の参加をお願いします。
参加費を振り込みにしてもらう、振込案内を記載した案内を再度、各支部に送る。

Ⅲ．今後の予定

1．行事予定

支部の行事予定に係わらす、山行について三水会などでリクエスト・提案お願いします。
個人の山行で会員をお誘いしたい、行きたい山はあるが一人では、等々、随時山行企画を行いたいと思います。
令和２年４月からの山行を企画中です。
リクエスト・提案がありましたら山行委員又は事務局まで連絡をお願いします。

令和元年　(2019 年 10 月～2020 年 3 月)				
実施予定日 (行程及び予備日)	事業 区分	内容・目的	山域・場所	担当
2020 年 1 月～3 月	共益	雪山入門	体育館など	八十嶋・事務局
2 月 15 日(土)～ 16 日(月)	共益	5 支部スキー山行(石川支部)	旧中宮スキー場　上部無名峰を予定 宿泊：吉野谷セミナーハウスを予定	石川支部
1/15,2/19, 3/18	共益	月例集会　三水会	金沢総合体育館	事務局
	共益	月例山行		山行委員会
	共益	支部報発行（年４回）	季刊（6 月 9 月 12 月 3 月）	事務局 堀 兼務
	共益	役員会議	必要の都度	事務局

2．月次集会　三水会

２０２０年(令和２年)
・1 月 15 日（水）　19:00 ～21:00　　場所　：金沢市総合体育館　第三会議室　を予定しています。
・2 月 19 日（水）　19:00 ～21:00　　場所　：金沢市総合体育館　第三会議室　を予定しています。
・3 月 18 日（水）　19:00 ～21:00　　場所　：金沢市総合体育館　第三会議室　を予定しています。
・4 月は三水会(4 月 15 日を予定)にて令和２年度総会を開催する予定です。

Ⅳ．その他　案内・連絡

1．登山届け、計画の提出について

石川支部では登山届けとして「コンパス」の利用を推奨しています。
PC、スマートフォンの方は出来るだけ「コンパス」を利用お願いします。
必要に応じて紙等の従来の方法での登山計画も作成・提出をお願いします。
一部の登山口では登山計画書のチェックが行われています。
・石川支部の緊急連絡先アドレス　　：　keikaku@jac-isk.com
・公益社団法人日本山岳ガイド協会　コンパス　　：　http://www.mt-compass.com/index.php
今日、天気が良いからちょっと里山へ、の場合も必ず登山届けを提出する様にお願いします。
どこに行くか分からないと探しようがありませんので、必ず登山届けを提出する様お願いします。
・コンパスでの登山届けと同時に、計画書をPDFに印刷してデータとしたものを支部の方に提出をお願いします。
また、紙に印刷した登山届けは登山口での提出と登山中の携行をお願いします。

2．山岳保険の確認・連絡

支部の皆様へ、現在加入されている山岳保険の確認をお願いします。

登山計画の届けでは保険の加入について記入が必要です。

支部の方でも確認したいので加入されている保険について連絡をお願いします。

登山される場合は必ず山岳保険に加入お願いします。

傷害保険やボランティア保険等はヘリコプター費用、捜索・救助費用が支払われません。

不幸にして行方不明や亡くなられた場合は所在が確認できるまで(御遺体が発見されるまで)生命保険や傷害保険は支払われません、公的な手続き(相続や名義変更等)も出来ません。

保険だけで無く本人名義の銀行口座も凍結される場合があります。

御家族にも多大な心労をかけることになります。

3．ココヘリについて

支部でもココヘリを利用される方が増えてきています。

ココヘリはもしも遭難、捜索が必要になった場合に場所の特定を容易にし、発見までの時間を早くする為のシステムです。

ココヘリの電波は最大 16km の探知範囲となっていますが、沢の中や状況によっては探知距離は短くなります。又、人体の水分の影響を受けやすいとされています。

その為、ココヘリを身につけていても**登山計画書・登山届が出されていないと捜索範囲を絞れません、**

どこに行くか分からないと探しようがありませんので、

必ず登山計画書・登山届けを提出しセットでココヘリの装備をお願いします。

ココヘリ　https://hitococo.com/cocoheli/

4．連絡への返信について

支部からの連絡や会員同士での連絡について、返信を求められている連絡については必ず返信をお願いします。

期日のある連絡については受取り次第、速やかに返信をお願いします。

例えは、行事などへの参加・不参加の確認連絡については、**不参加なので返信しない**、は不参加との意思確認が出来ないので、不参加の場合でも**必ず不参加との連絡を**お願いします。

5．メールアドレスについて

メールアドレスにつきまして、できましたら**ＰＣメール**にて登録お願いします。

携帯だと添付ファイルが容量オーバーで戻ってきます。 支部報等､出来るだけデータでお渡ししたいと思います。

ＰＣメールについても添付可能なデータ量の確認もお願いします。

支部報については 5Mbyte 程度を目処に編集しています。

又、メールが届かない方(エラーになります)もいらっしゃいますので再度メールアドレスの確認をお願いします。

最近、メール連絡が来ない、等ありましたら事務局の方まで連絡をお願いします。

6．電話番号・FAX番号の再確認のお願い

皆様から頂いています電話番号・FAX 番号について再度確認をお願いします。

会の方から電話・FAX にて連絡していますが不通の方、呼び出してはいるが出られない方がいらっしゃいます。

郵送連絡しか届かない、電話・FAX で連絡が来ない方、いらっしゃいましたら会の方に連絡頂いている電話番号・FAX 番号について確認をして頂き事務局の方に連絡お願いします。

※メールにて連絡が取れる方は基本的に郵送・電話(緊急時の電話連絡を除く)・FAX での連絡は行っていません。

7．山行報告について

皆様から素晴らしい山行の報告を頂いていますが、ホームページ及び支部報への記載の都合上、
報告・レポートはワード(.doc)ファイルもしくはテキスト(.txt)ファイルで、写真については印刷用紙(A4)の都合上、４：３の jpeg データで頂けると助かります。
又、写真については各コマのコメントを添えて頂けると助かります。
編集者が同行していない山行では場所や景色について分からない場合が多く、編集作業中に確認のために時間がかかっています、ご協力をお願いします。

8．退会

ふるさと登山道整備事業実行委員長として登山道整備に活躍されていましたが、１２月２０日をもって退会されました。

・町口　純司（１６２５０）

9．訃報

石川支部にて御活躍されました宮竹重里氏が逝去されましたのでご報告いたします。
宮竹　重里　様（１０７７２）９５歳
１０月２８日　逝去されました
通夜：１０月３０日（水）午後7時　、　葬儀：１０月３１日（木）午前１１時通夜

編集後記

酷暑の夏、天候も悪く災害が多発した夏から秋でしたが、ようやく冬の便りが、と思っているところですが、どうやら暖冬の様で山の雪は少ない状態です。
登山ルートも積雪が落ち着かず、岩場は岩・雪・氷のミックス状態となっています。
アイゼン・ピッケル等の冬山装備をしっかり装備し安全に山を楽しんで下さい。

日本山岳会　石川支部報
発行日　2019 年(令和元年)12 月 31 日
発行者　公益社団法人 日本山岳会
支部長　　樽矢　導章
TEL/FAX：076-237-5769
編集者　支部報担当　堀　正春
(事務局) TEL/FAX：076-248-0175
E-mail　isk@jac.or.jp
HP　https://jac-isk.com/index.html